

2010年度

|   |  |    |       |       |
|---|--|----|-------|-------|
| 科目名   | 基礎ゼミナールⅡB  |    |       |       |
| 担当教員  | 岡島 克樹  |    |       |       |
| 配当  | 人社2  |    | コード   | 32581 |
| 開期  | 後期   | 講時 | 水曜日2限 | 単位数 1 |
| 授業テーマ   | 地域コミュニティの諸課題を学びながら、企画力を磨く。   |    |       |       |
| 目的と概要   | 地域コミュニティには、いじめや不登校から「シャッター通り」、多文化共生まで、多種多様の課題が存在している。みなさんが学ぶ「人間社会学部」は「人間」が形成する「社会」の中にある、こうした諸課題に関心を持ち、その解決・緩和方法を提示できる実践力を有する人になってもらうことを目的とした学部である。この基礎ゼミでは、(1)このような数々の社会課題の中から1つの地域課題を選び出し、(2)原因を複眼的に探り、具体的な解決・緩和策を探る企画力、そして社会人として求められるチームワーク力を涵養する。   |    |       |       |
| 成績評価法   | あらかじめ設定された評価指標(本学部教育目標19項目に類似する)に基づき判断する。  |    |       |       |
| テキスト  | 「実践力のある地域人材の輩出」プログラムキャリア教育検討委員会が作成した「キャリア教育講座 こんなまち欲かってん」を履修者全員に配布する。  |    |       |       |
| 参考書   | 本学部教員が作成した「資料集」を履修者全員に配布する。  |    |       |       |
| 履修に当たっての注意・助言   | <p>(1) 評価への協力: この基礎ゼミは文部科学省「H20年度戦略的大学連携支援事業」に採択された「実践力のある地域人材の輩出」プログラムのキャリア教育科目「PP(パワーアップ・プラクティス)講座」で開発された教育法を用いて実施され、実施後は、その教育方法の有効性を確認するとともに、さらなる改善を行うための教訓を抽出するために評価も行われる予定である。受講生には、その点を理解してもらい、この講座の効果とは何かを確認するアンケート等への協力をお願いする。</p> <p>(2) 審査員: みなさんが行う発表を審査する審査員には富田林市役所職員・地域にある諸団体の役員等を含む学外の方にも就任していただく予定である。これは、学外からの方がおられることによって、学内から得られない発表へのコメントを得るとともに、学内の授業の中に一定の緊張感をもたらすことをねらいとしている。受講生のみなさんには積極的に前向きに課題に取り組むようにしてほしい。</p> <p>(3) 協同学習: この基礎ゼミでは、異なるゼミのメンバーが混ざっていくつかのチームを構成し、それぞれのチームで1つの企画案を練り上げ、発表する。そのため、考え抜いた結果できあがった企画案の内容はもとより、はじめの人間関係づくりから企画案の最終版発表にいたるまで、同じチーム内のメンバーが目標を共有し、それぞれのメンバーがチーム内で果たすべき役割はなにかを考え、行動するプロセスも大変重要である。異なるゼミの仲間とも積極的にコミュニケーションを図るようお願いする。</p> |    |       |       |
| 講義計画  |  |    |       |       |
| <p>1回目: オリエンテーション(目的やスケジュール、これから取り組む地域課題に関する簡単な説明を行う)</p> <p>2回目: フィールドワーク(選ばれた地域課題に関する場所を見学する)</p> <p>3回目: マッピング・エクササイズ(学んだ内容を地図上に表現。さらに調べるべき事項を確認する)</p> <p>4回目: レクチャー(滝谷不動駅周辺地区まちづくり協議会の役員の方から話を伺う)</p> <p>5回目: 企画シート記入</p> <p>6回目: 企画1次案の発表会</p> <p>7回目: 企画改善・発表準備(パワーポイント)</p> <p>8回目: 企画最終版の発表会および審査・講評</p> |  |    |       |       |